

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和3年 6月 4日

宮崎県知事 河野 俊嗣 殿



提出者

住所 宮崎県宮崎市高洲町235番地3

氏名 大和開発株式会社

代表取締役 境 一成

電話番号 0985-27-8111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和2年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大和開発株式会社
事業場の所在地	宮崎県宮崎市高洲町 235 番地 3
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和3年 3月 31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	— t	全処理委託量	— t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	— t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廢棄物の種類) がれき類

1

この表は、産業廃棄物の種類ごとに作成してください。

单行

(第 2 面)

計画の実施状況

(産業)廃棄物の種類: 廃プラスチック類

```

graph TD
    A[量] --> B[有物]
    A --> C[不要物等発生量]

```

①	18	自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③
項目	実績値	自ら中間処理した量 ④
①排出量	18	④のうち熱回収を行った量 ⑤
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	
⑤自ら熱回収を行った量	0	
⑦自ら中間処理により減量した 量	0	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋 投入処分を行った量	0	
⑩全處理委託量	18	
⑪優良認定処理業者への処理 委託量	0	左表は自動入力のため 記入不要です。
⑫再生利用業者への処理委託 量	18	
⑬熱回収認定業者への処理委 託量	0	
⑭熱回収認定業者以外の熱回 收を行う業者への処理委託量	0	

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

に作成してください。

单位

(第 2 面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:汚泥

2

この表は、産業廃棄物の種類ごとに作成してください。

单行

(第 2 面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:木くず)

この表は、産業廃棄物の種類ごとに作成してください。

単位:t

不 要 物 等 発 生 量	有 債 物 量
	① 5

排 出 量	実 績 値
① 5	

①排出量	0	②+⑧自ら再生利用を行った量	0	⑤自ら熱回収を行った量	0	⑦自ら中間処理により減量した量	0	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処を行った量	0	⑪全処理委託量	5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0	⑫再生利用業者への処理委託量	5	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0				

左表は自動入力のため
記入不要です。

②自ら直接再生利用した量	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤自ら中間処理により減量した量	⑥自ら中間処理した後に残さ量	⑦自ら中間処理した後に残さ量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用率 業者への処理委託量	⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑫のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑬のうち優良認定業者への処理委託量
① 5	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩ 5	⑪ 5	⑫ 0	⑬ 0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:混合廃棄物)

この表は、産業廃棄物の種類ごとに作成してください。

単位:t

(第 2 面)

有 傷 物 量

不 要 物 等 発 生 量

自ら直接
再生利用した量

②

排 出 量
① 4

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した量
④

自ら中間処理した後
後の残さ量
⑥

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑪

⑫ 4

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨

⑩のうち熱回収認定業
者への処理委託量
⑪

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩

⑪のうち熱回収認定業
者以外の熱回収を行つ
る業者への処理委託量
⑫

⑬ 4

自ら中間処理した後
より減量した量
⑦

⑩のうち優良認定
業者への処理委託量
⑪

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩

⑪のうち優良認定
業者への処理委託量
⑫

⑬ 4

自ら中間処理した後
より減量した量
⑦

⑩のうち優良認定
業者への処理委託量
⑪

左表は自動入力のため
記入不要です。

項目 実績値

①排出量 4

②+⑧自ら再生利用を行つた量 0

⑤自ら熱回収を行つた量 0

⑦自ら中間処理により減量した
量 0

③+⑨自ら埋立処分又は海洋
投入処分を行つた量 0

⑪全処理委託量 4

⑪優良認定処理業者への処理
委託量 0

⑫再生利用業者への処理委
託量 4

⑬熱回収認定業者への処理委
託量 0

⑭熱回収認定業者以外の熱回
収を行う業者への処理委託量
0

産業廃棄物処理計画実施状況報告書 集計表

(別紙)

単位: t

	産業廃棄物の種類 がれき 類	廃アス チック類	汚泥	木くず	混合 廃棄物			項目	実績値
① 排出量	137	18	2	5	4			①排出量	166
② 自ら直接再生利用した量								②+⑧自ら再生利用を行った量	0
③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量								⑤自ら熱回収を行った量	0
④ 自ら中間処理した量								⑦自ら中間処理により減量した量	0
⑤ ④のうち熱回収を行った量								③+⑨自ら埋立処分を行った量	0
⑥ 自ら中間処理した後の残さ量								⑩全処理委託量	166
⑦ 自ら中間処理により減量した量								⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量								⑫再生利用業者への処理委託量	166
⑨ 自ら中間処理後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量								⑬熱回収認定処理業者への処理委託量	0
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	137	18	2	5	4			⑭熱回収認定処理業者以外の処理委託量	0
⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	137	18	2	5	4				
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	137	18	2	5	4				166
⑬ ⑩のうち熱回収認定処理業者への処理委託量									0
⑭ ⑩のうち、熱回収認定処理業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									0

*立米(m³)は、トン(t)に換算の上、記入してください。(換算係数は、市ホームページ中「マニフェスト交付等の状況報告」に掲載しております。

*「ガコン陶」は、「ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず」です。

(この部分の入力は不要です)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。